



## 2024年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年4月4日

上場会社名 三協立山株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5932 URL <https://www.st-grp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 平能 正三  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 吉田 安徳 (TEL) 0766-20-2122  
 四半期報告書提出予定日 2024年4月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年5月期第3四半期の連結業績(2023年6月1日~2024年2月29日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第3四半期	264,459	△4.1	2,659	146.7	2,824	70.2	△569	—
2023年5月期第3四半期	275,854	10.1	1,077	△60.8	1,658	△38.3	604	66.6

(注) 包括利益 2024年5月期第3四半期 2,566百万円(△24.8%) 2023年5月期第3四半期 3,411百万円(998.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年5月期第3四半期	円 銭 △18.15	円 銭 —
2023年5月期第3四半期	円 銭 19.27	円 銭 —

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年5月期第3四半期	百万円 277,063	百万円 94,599	% 33.0
2023年5月期	百万円 282,932	百万円 92,667	% 31.6

(参考) 自己資本 2024年5月期第3四半期 91,397百万円 2023年5月期 89,495百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年5月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00
2024年5月期	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
2024年5月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年5月期の連結業績予想(2023年6月1日~2024年5月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,000	△5.0	3,500	31.1	3,000	△12.3	△1,000	—	△31.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年5月期3Q	31,554,629株	2023年5月期	31,554,629株
② 期末自己株式数	2024年5月期3Q	208,265株	2023年5月期	204,216株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年5月期3Q	31,348,670株	2023年5月期3Q	31,353,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

はじめに、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。当社グループは、地元企業として地域復興に貢献していきたいと考えております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く外部環境は、国内においては依然として物価高の影響による住宅投資の減退や設備投資の弱めの動きが継続し、建設市場や一般機械市場での需要が減少しました。海外においては、欧州経済はインフレによる低成長や足元では電気自動車市場の勢いの鈍化、タイ経済は製造業低迷による景気の減速、また中国経済の先行き懸念など引き続き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高2,644億59百万円（前年同期比4.1%減）、営業利益26億59百万円（前年同期比146.7%増）、経常利益28億24百万円（前年同期比70.2%増）となりました。また、令和6年能登半島地震で建物や設備の修繕費等の発生費用や工場の操業停止に伴う損失などとして特別損失21億10百万円（災害による損失6億91百万円、災害損失引当金繰入額14億18百万円）を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は5億69百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益6億4百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### **建材事業**

建材事業においては、価格改定の浸透や「住宅省エネ2023キャンペーン」によるリフォーム需要の獲得などがありました。依然として建築市場の低迷が続いており、売上高1,376億91百万円（前年同期比1.1%減）となりました。利益については、価格改定を含めた収益改善施策の効果などにより、セグメント利益11億37百万円（前年同期より18億91百万円の改善）となりました。

#### **マテリアル事業**

マテリアル事業においては、輸送分野は国内生産の回復により需要が増加しましたが、建材分野、一般機械分野で需要の減少が続いていることやアルミ地金市況に連動して売上が減少したことに加え、令和6年能登半島地震の影響に伴う受注減により、売上高398億16百万円（前年同期比10.0%減）となりました。利益については、販売構成の変化や売上高の減少などにより、セグメント利益14億99百万円（前年同期比34.8%減）となりました。

#### **商業施設事業**

商業施設事業においては、投資が積極的な業態を中心に店舗の新規出店や改装の需要を取り込んだことや価格改定の浸透などにより、売上高312億30百万円（前年同期比2.9%増）となりました。利益については、売上高の増加や価格改定を含めた収益改善施策の効果などにより、セグメント利益11億14百万円（前年同期比227.7%増）となりました。

## 国際事業

国際事業においては、為替影響により増収効果はあったものの、アルミ地金市況に連動する売上減少や欧州の電気自動車向けの販売量の減少が継続していることから、売上高554億32百万円（前年同期比10.4%減）となりました。利益については、販売構成や欧州でのエネルギーや諸資材価格の上昇に対する価格転嫁などの改善を進めましたが、売上高減少により、セグメント損失10億15百万円（前年同期はセグメント損失6億66百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて58億68百万円減少し、2,770億63百万円となりました。これは、現金及び預金が24億46百万円、投資有価証券が16億6百万円、それぞれ増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が81億82百万円、仕掛品等の棚卸資産が18億88百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて78億0百万円減少し、1,824億64百万円となりました。これは、長期借入金が35億82百万円、災害損失引当金が14億18百万円、賞与引当金が14億15百万円、それぞれ増加したものの、短期借入金が114億21百万円、支払手形及び買掛金が24億60百万円、それぞれ減少したことが主な要因であります。なお、純資産は945億99百万円、自己資本比率は33.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2023年7月12日に公表いたしました2024年5月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2024年4月4日）に公表いたしました「特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,377	24,824
受取手形、売掛金及び契約資産	57,247	49,065
電子記録債権	6,653	5,677
有価証券	10	11
商品及び製品	21,637	20,832
仕掛品	16,399	15,499
原材料及び貯蔵品	19,249	19,065
その他	8,298	7,483
貸倒引当金	△606	△584
流動資産合計	151,268	141,875
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,149	22,095
土地	54,478	54,779
その他（純額）	26,950	27,830
有形固定資産合計	103,577	104,705
無形固定資産		
のれん	1,152	745
その他	2,593	2,530
無形固定資産合計	3,745	3,276
投資その他の資産		
投資有価証券	11,848	13,454
その他	13,181	14,122
貸倒引当金	△688	△370
投資その他の資産合計	24,341	27,206
固定資産合計	131,664	135,188
資産合計	282,932	277,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年2月29日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,284	42,824
電子記録債務	20,698	21,426
短期借入金	23,761	12,339
1年内返済予定の長期借入金	16,528	17,871
未払法人税等	815	521
賞与引当金	360	1,776
災害損失引当金	—	1,418
引当金	4	54
その他	20,553	17,474
流動負債合計	128,008	115,708
固定負債		
長期借入金	42,261	45,844
製品改修引当金	953	827
退職給付に係る負債	8,976	9,138
資産除去債務	484	491
その他	9,581	10,455
固定負債合計	62,256	66,756
負債合計	190,265	182,464
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	31,932	31,932
利益剰余金	27,324	26,126
自己株式	△255	△258
株主資本合計	74,002	72,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,010	2,077
繰延ヘッジ損益	△196	138
土地再評価差額金	3,858	3,858
為替換算調整勘定	1,954	3,175
退職給付に係る調整累計額	8,867	9,347
その他の包括利益累計額合計	15,493	18,597
非支配株主持分	3,172	3,201
純資産合計	92,667	94,599
負債純資産合計	282,932	277,063

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年6月1日 至2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年6月1日 至2024年2月29日)
売上高	275,854	264,459
売上原価	226,404	212,584
売上総利益	49,450	51,874
販売費及び一般管理費	48,372	49,215
営業利益	1,077	2,659
営業外収益		
受取利息	40	89
受取配当金	227	178
持分法による投資利益	245	244
為替差益	413	581
その他	516	522
営業外収益合計	1,444	1,616
営業外費用		
支払利息	535	984
その他	327	466
営業外費用合計	863	1,451
経常利益	1,658	2,824
特別利益		
固定資産売却益	22	51
投資有価証券売却益	2	106
抱合せ株式消滅差益	—	16
その他	0	0
特別利益合計	24	174
特別損失		
固定資産売却損	12	4
固定資産除却損	213	340
投資有価証券評価損	1	4
災害による損失	—	691
災害損失引当金繰入額	—	1,418
特別損失合計	227	2,461
税金等調整前四半期純利益	1,455	537
法人税等	835	1,098
四半期純利益又は四半期純損失(△)	620	△561
非支配株主に帰属する四半期純利益	16	7
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	604	△569



## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	620	△561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196	1,065
繰延ヘッジ損益	△425	335
為替換算調整勘定	582	1,243
退職給付に係る調整額	2,434	478
持分法適用会社に対する持分相当額	3	5
その他の包括利益合計	2,790	3,128
四半期包括利益	3,411	2,566
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,383	2,534
非支配株主に係る四半期包括利益	27	32

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

## (セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2023年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	139,226	44,242	30,345	61,879	275,693	160	275,854	—	275,854
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,026	27,907	58	1,364	32,356	—	32,356	△32,356	—
計	142,252	72,149	30,404	63,243	308,050	160	308,211	△32,356	275,854
セグメント利益又は 損失(△)	△753	2,298	340	△666	1,219	△65	1,153	△75	1,077

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、植物工場事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△75百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△68百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2024年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	建材 事業	マテリ アル 事業	商業 施設 事業	国際 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	137,691	39,816	31,230	55,432	264,171	287	264,459	—	264,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,060	31,666	49	1,375	36,150	—	36,150	△36,150	—
計	140,752	71,482	31,279	56,808	300,322	287	300,609	△36,150	264,459
セグメント利益又は 損失(△)	1,137	1,499	1,114	△1,015	2,736	△23	2,713	△54	2,659

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業、植物工場事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△54百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△49百万円が含まれております。全社費用は、主として各報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。